

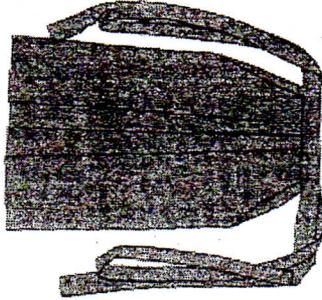
# 袴のたたみ方

2014. 12. 10

1. 襠(左右に切れているものを袴の脚から手を入れて右に寄せる。これをやるかどうかで以後の作業効率やたたみあがりが変わる。また、今後の扱いやすさ(ひだが消えない、変なところに線がつかないなど)に差が出る。

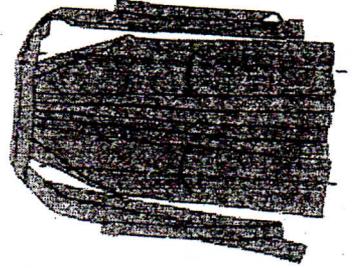


2. 後ろ向きに床の上に置き、後ろのひだを揃えて重ね、しわを伸ばして裾を揃える。(ひだは、裾で整えた後、上下を持ち、引き張って揃え、手のしわを平らにする)

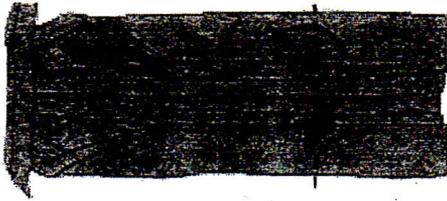


3. 揃えた後ろのひだが崩れたら裏返し、前のひだを2回様に整え、その後左右10cmくらいを内折りたたむ。

この時に平面にならないよう、中の襠がズレているので、柄手を入れてきちんと整える



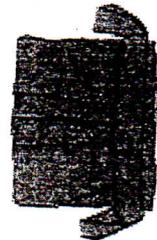
4. 裾が乱れないように3分の1折りたたむ。



5. 残り3分の1を折りたたむ。



6. 袴ひもの始末へ進む。



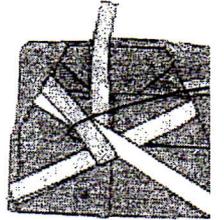
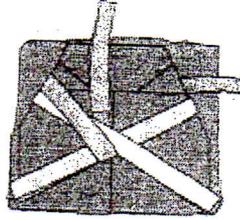
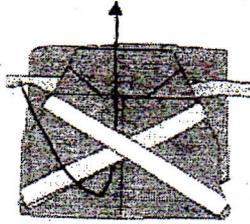
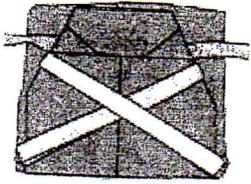
\* 図は女物の袴ですが、基本的にたたみ方は男女共通です。

\* 大学に入ってから袴を買った人(特に女性)は襠がないものがほとんどだと思うので1は省略できます。

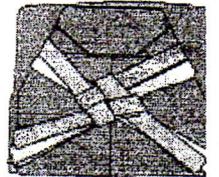
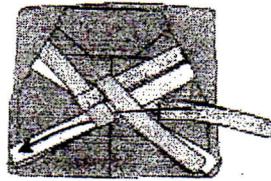
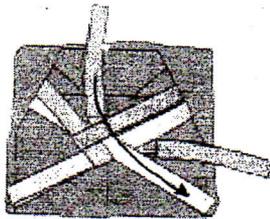
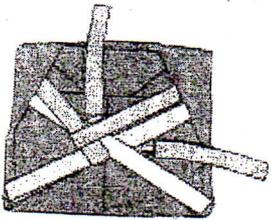
# 〈袴ひもの始末〉

①男性 井桁結び (男むすび) ... 前後の紐の太さが同じ袴のたたみ方

- 1 左右の前紐を4つ折にして交差させる。
- 2 交差させた前紐を、左の後紐で巻くように、下から上へくぐらせる。
- 3 くぐらせた後紐の残りを半分に折る
- 4 右の後紐をいたしに直し、全体を巻くくぐらせる。

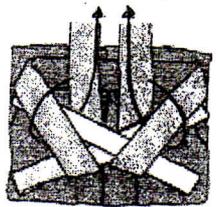
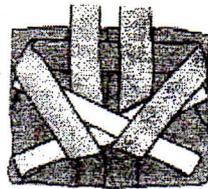
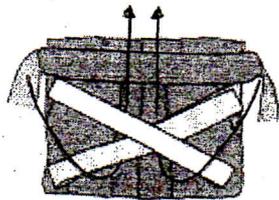
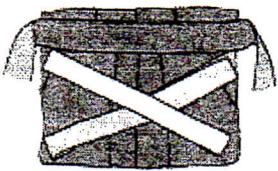


- 5 後紐の残りを半分に折る。
- 6 3で折った後紐の残りを前紐の上に重ねる
- 7 残った後紐を向かいの紐の下に通して形を整える。
- 8 完成。



②女性 出せたたみ (女だたみ) ... 正式なたたみ方。男女共通。

- 1 左右の前紐を4つ折にして交差させる
- 2 交差させた前紐を後紐で下から上へくぐらせる。
- 3 紐をくぐらせたところ。
- 4 それぞれの根元を2回様に後紐で巻く崩れないようにまとめる



- 5 後紐の余った部分を折り返し、紐の下に通す。
- 6 反対側も同じように紐の下に通し、形を整える。
- 7 完成。
- 8 図のように紐の根元を左右に引っ張れば紐はま

